

## 平成23年度 第39回岐阜県高等学校選抜バスケットボール大会 (兼第42回全国高等学校選抜優勝大会県予選会)

### ☆男子展望

今大会は、県総体において優勝した美濃加茂が優勝候補の筆頭である。全国高校総体では惜しくも2回戦で涙をのんだが、実績・経験とも申し分がない。主将の松井、司令塔の打江、長身センターの赤土・汜天騏のツインタワーを軸にスピーディーで、破壊力のあるバスケットを展開する。対抗には、県総体2位の岐阜農林があげられる。県総体では美濃加茂に1点差で敗れたが、3年生キャプテンでチームをまとめる吉田、個々の能力が高い1年生を中心に、チームワークは抜群である。粘り強いディフェンスを武器にコートを縦横無尽に駆け回るバスケットを展開する。また、県総体3位の岐阜総合、4位の富田も、スピーディーで粘り強いチームであり、上位を脅かす存在である。さらに、県総体5位の中津川工の活躍にも期待したい。

Aブロック・第1シードの美濃加茂が最有力である。対抗には、県総体ベスト8の中京があげられる。また、岐南工の活躍にも期待したい。

Bブロック・第4シードの富田が粘り強いディフェンスからの速攻を武器に上位をねらっている。対抗には、県総体5位の中津川工がリベンジに燃えている。この2校がベスト4を懸けて戦うであろう。

Cブロック・第3シードの岐阜総合が有力である。機動力を生かしたバスケットに、どれだけ磨きがかかったか期待したい。対抗には、県総体ベスト8の恵那があげられる。

Dブロック・第2シードの岐阜農林が粘り強いバスケットで虎視眈々と優勝を狙っている。対抗には、個々の能力が高い高山西があげられる。この2校がベスト4を懸けて戦うであろう。

### ☆女子展望

岐阜女子が選手層の厚さ・個々の能力の高さで群を抜いている。東海高校総体では準優勝、全国高校総体ではベスト8という成績を収め、実績・経験とも申し分がない。主将の野原、外国人留学生センターのアイダを軸に、レベルの高いバスケットを展開し、優勝候補の筆頭である。対抗には、県総体準優勝の長良、粘り強く最後まで戦う岐阜総合、中国人留学生を擁し、総合力も高い高山西があげられるが、岐阜女子相手にどこまで食らいついていけるか期待したい。さらに、県総体5位の土岐商、近年着実に力をつけている岐阜農林の活躍にも期待したい。

Aブロック・第1シードの岐阜女子が圧倒的な強さでベスト4に進出するであろう。対抗には、県総体ベスト8の県岐商があげられる。

Bブロック・第4シードの高山西が有力である。対抗には、個々の能力が高く、県総体5位の土岐商があげられる。この2校がベスト4を懸けて戦うであろう。

Cブロック・第3シードの岐阜総合が安定した戦いで上位に進出するであろう。対抗には、チーム力が高く、外角シュートを得意とする岐阜農林があげられる。岐阜各務野の活躍にも期待したい。

Dブロック・第2シードの長良が最有力である。個々の能力が高く、下級生の活躍に期待したい。対抗には、県総体ベスト8の大垣商があげられる。順当にいけばこの2校がベスト4を懸けて戦うであろう。